

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千七百六號

海軍大臣官房

昭和十六年一月二十五日(土)

○通牒

航本機密第六六二號

昭和十三年航本機密第七九〇六號航空發動機附屬品及動力關係機裝品ノ名稱表中左ノ通改正ス

昭和十六年一月二十四日

海軍航空本部長

記

一、燃料管制器ノ項燃料管制器一型ノ次ニ左ノ如ク加フ

燃料管制器 一二型	中島	中島
<small>昭和十五年航本機密第八八六四號ニヨリ制定セルモノニシテ燃料管制器一型ヲ双ハンドル式ニ改メ管接手部寸法ヲ擴大セルモノナリ</small>		

二、燃料調壓器ノ項「澆網付燃料調壓弁一型」ヲ「燃料調壓弁一二型」ニ改ム

三、空氣ポンプノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

油澆器 一二型	自轉油澆 一二型	中島	中島
<small>キヌノ1式油澆器ヲ發動機連轉中油澆器ニヨリ同轉セシメ自動的ニ澆掃シ得ル如クセルモノナリ</small>			

(參照) 四版海軍航空秘法規類集二六八ノ一頁

吳港德支機密第二二號

昭和十六年一月二十日

吳海軍港務部德山支部

關係各部御中

德山要港港務ニ關スル件照會

當部開設以來整備及從來行掛ノ關係モアリ現在海軍燃料廠ニ依託實施中ノ艦船ノ陸岸繫留並ニ解纜作業ハ來二月一日ヨリ所掌通リ當部ニ於テ實施可致候條御了知相成度

追テ當港務部支部ハ德山要港ニ於ケル海軍施設ノ警衛及防火ヲ掌リ德山要港ノ取締ヲモ擔當致居候

○雜款

海軍公報(部内限)第三千七百六號

昭和十六年一月二十五日

一〇七

0631

○司令驅逐艦變更  
第七驅逐隊司令ハ一月二十二日司令驅逐艦ヲ速ヨリ潮ニ變更セリ

○郵便物發送先  
當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

部隊(艦)名	郵便物宛名	期日	記事
第二十四航空戰隊司令部	橫須賀郵便局氣付 三四五二	二月八日以後	一、區別符使用ノ部隊宛ノセ ノハ職名及部隊名ハ絕對ニ表示セザルコト
橫濱航空隊本隊	同 三四五三	二月一日以後	二、個人宛ノ私文書ニハ符字ノ外氏名ヲ記スルコト
千歲航空隊本隊	同 四〇五四	二月十三日以後	三、詳細軍務二機密第一〇〇六號ニ依ル
神威	同 軍艦神威	一月二十三日以後	
五洲丸	同 軍艦五洲丸	二月十日以後	
橫濱航空隊殘留隊	原隊宛	二月一日以後	
千歲航空隊殘留隊	原隊宛	二月十三日以後	

當隊新興丸宛郵便物ハ自今軍務二機密第一〇〇七號ニ不拘左記ニ依リ發送相成度

(第二十四航空隊)

記  
佐世保郵便局氣付 新興丸  
(第十四砲艦隊)

○郵便物發送先ニ關スル件照會  
今般當艦備相成候ニ就テハ當艦ト同名ノ砲艦有之候條往々ニシテ相互ニ書類ノ誤送サルルモノ不勤執務上支障有之候條自今當艦宛郵便物ハ必ズ「東舞鶴郵便局氣付 軍艦新興丸」ト明記相成度  
(軍艦新興丸)

○事務所撤去  
伊號第十七潜水艦艦裝具事務所ハ一月二十四日撤去セリ

○迎送用自動車廢止  
從來當隊及當地方ヘノ出張者ノ依頼ニ應ジ博多驛又ハ香椎驛ニ迎送用自動車差遣致居候處燃料ノ節約上自今之ヲ廢止致候ニ付來隊ノ際ハ博多灣鐵道ヲ利用相成度追テ同鐵道ハ新博多驛(省線博多驛ヨリ市線博多驛ニテ約七分)及香椎停留所(省線香椎)ヨリ隊門前海ノ中道驛迄三十分乃至一時間毎ニ一日二十數回往復致居候  
(博多海軍航空隊)

0632

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ  
指定ヲ要セズ

○一月二十五日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋▲、  
鹿島▲、天龍▲、龍田▲、夕張▲、迅鯨▲、  
曙▲、潮▲、隴▲、雷▲、追風▲、疾風▲、夕風▲、  
朝風▲、睦月▲、如月▲、望月▲、彌生▲、  
伊六▲

宗谷

翔鶴▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲、  
(伊三三)▲

【長浦】

磯風▲、浦風▲、  
呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、  
呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、  
呂六七、伊一二三、伊一二四、  
驅潜一三

哨一、哨二

【横濱】

【浦賀】

【笛山】

【大湊】

伊五二、  
哨三四▲、哨三五▲、  
淺間▲、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈▲、飛龍▲、  
薄雲▲、伊菊月、卯月、  
呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【吳】

伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊一二二、  
伊一二一、  
驅潜五三▲

【大阪】

球磨▲、  
日進▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、  
隱戸▲

【神戸】

大井▲、  
瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二一)▲、  
(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、  
(石垣)▲、  
三日月▲

【因ノ島】

【別府】

【佐伯】

【伊豫灘】

【舞鶴】

【佐世保】

吳竹、若竹、早苗、  
掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、  
八雲、  
驅潜五一、驅潜五二、  
哨三一、哨三二、哨三三、  
吾妻▲、長良▲、木曾▲、  
哨三六、哨三七、  
(野分)▲、  
羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲、  
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲、  
伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲、  
哨三八▲、哨三九▲

海軍公報(部内限)第三千七百六號

昭和十六年一月二十五日

一〇九

0633

敷島▲早鞆▲野島▲  
(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲

【長崎】  
【寺島水道】  
【鏡海】  
【作業地】

知床 芙蓉  
口安宅、伏見、比良、二見、熱海、  
鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、  
足柄、占守、嵯峨、名取、磐手、  
長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、  
霧島、加古、古鷹、青葉、阿武隈、  
川内、龍驤、鳳翔、千歳、千代田、  
瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、  
熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、  
那珂、加賀、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、  
沖島、常磐、香取、大鯨、長鯨、  
五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良、  
能登呂、神威、  
栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
太刀風、夕風、帆風、沙風、夕月、響、  
曉、電、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、  
初風、雪風、天津風、時津風、霞、  
陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發—吳)  
大泊 (二十二日小樽發—久春内)  
尻矢 (二十三日川崎發—吳)

江風、山風、大湖、荒潮、滿潮、朝潮、  
矢風、沖風  
呂三、四、呂三三、伊二、伊一、伊三、  
伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、  
伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、  
伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、  
伊六六、伊六九、伊七〇、伊七二、  
伊七三、伊七四、伊七五  
鴻、隼、鴨、鵠、雁、鳩、鶯、雉、  
初雁、真鶴、友鶴、千鳥  
掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
掃一〇、掃一一、掃一二  
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二  
明石、鳴戶、鶴見、朝日、佐多、室戶、  
襟裳、攝津、開宮

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百七號

昭和十六年一月二十七日(月)

## 海軍大臣官房

### ○ 辭令

萬光丸 船長 田中 房次  
 同 一等運轉士 雪岡 渡  
 同 二等運轉士 永末 淺吉  
 同 三等運轉士 森 秀三  
 同 機關長 逆瀬川 水穂  
 同 一等機關士 廣瀬 耿紀  
 同 二等機關士 伊藤 五郎  
 同 通信局長 近藤 安  
 (以上昭和十二年八月二十五日附)  
 萬光丸 三等運轉士 渡邊 毅  
 同 一等機關士 勝見 健吉  
 (以上昭和十二年十二月二十六日附)  
 萬光丸 三等機關士 石山 外史信  
 (昭和十三年六月十二日附)  
 萬光丸 船長 山田 豊吉  
 同 二等運轉士 一戸 幹次  
 (以上昭和十三年七月十五日附)

(各通)

萬光丸 一等運轉士 柳内 秀吉  
 (昭和十三年九月五日附)  
 萬光丸 一等機關士 丸山 芳三郎  
 (昭和十三年九月七日附)  
 萬光丸 三等運轉士 玉井 章  
 (昭和十四年三月二十一日附)  
 萬光丸 一等機關士 中田 二郎  
 (昭和十四年十月十一日附)  
 萬光丸 船長 味村 千代松  
 (昭和十四年十一月二十七日附)  
 萬光丸 機關長 岩上 茂  
 (昭和十五年一月十九日附)  
 萬光丸 二等運轉士 福井 太郎  
 (昭和十五年三月八日附)  
 萬光丸 一等機關士 堤 清  
 (昭和十五年四月二十三日附)  
 萬光丸 二等機關士 坂築 俊平  
 (昭和十五年五月二日附)  
 萬光丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス  
 (海軍省)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七百七號 昭和十六年一月二十七日

一一一

0635

萬光丸三等運轉士 森 秀三

同 一等機關士 廣瀬 耿紀

(以上昭和十二年十二月二十六日附)

萬光丸 船長 田中 房次

同 二等運轉士 永末 淺吉

(以上昭和十三年七月十五日附)

萬光丸一等運轉士 雪 岡 渡

(昭和十三年九月五日附)

萬光丸一等機關士 勝見 健吉

(昭和十三年九月七日附)

萬光丸三等運轉士 渡 邊 毅

(昭和十四年三月二十一日附)

萬光丸一等機關士 丸山 芳三郎

(昭和十四年十月十一日附)

萬光丸 船長 山田 豊吉

(昭和十四年十一月二十八日附)

萬光丸 機關長 逆瀬川 水穂

(昭和十五年一月二十日附)

萬光丸二等運轉士 一戸 幹次

(昭和十五年三月七日附)

萬光丸一等機關士 中田 二郎

(昭和十五年四月二十四日附)

萬光丸二等機關士 伊藤 五郎

(昭和十五年三月八日附)

萬光丸三等機關士 石山 外史信

(昭和十五年五月六日附)

萬光丸 通信局長 近藤 安

(昭和十五年五月十六日附)

萬光丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

旭光丸 船長 池端 瀧藏

同 一等運轉士 安田 襄

同 二等運轉士 小椋山 四郎

同 機關長 平林 三郎

同 一等機關士 伊藤 寅吉

同 二等機關士 石原 一郎

同 通信局長 大河 專一

旭光丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(以上昭和十五年三月八日附)

旭光丸二等運轉士 小椋山 四郎

旭光丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(同)

旭光丸一等運轉士 安田 襄

旭光丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

旭光丸一等運轉士 岸高 山人

旭光丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(以上昭和十五年三月八日附)

(各通)

(各通)

0636

<p>神祥丸 船長 高森 力吉</p> <p>(各通) 同 機關長 石井 濔</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 二等運轉士 柳生 茂久次</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 一等機關士 大澤 信之助</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 二等機關士 大木 岩雄</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 三等運轉士 大内 正之</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 一等運轉士 松屋 鶴吉</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>神祥丸 船長 高森 力吉</p>	<p>同 一等運轉士 松屋 鶴吉</p> <p>同 二等運轉士 柳生 茂久次</p> <p>同 三等運轉士 大内 正之</p> <p>同 無線局長兼事務長 九島 宗輝</p> <p>同 機關長 石井 濔</p> <p>同 一等機關士 大澤 信之助</p> <p>同 二等機關士 大木 岩雄</p> <p>神祥丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (八月廿四日同)</p> <p>海軍少將 小島 謙太郎</p> <p>軍司令部ニ於ケル軍事調査事務ヲ囑託ス (八月廿四日同)</p> <p>陸軍少尉 松室 淵生</p> <p>海軍省事務ヲ囑託ス</p> <p>海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (以上)</p> <p>(各通) 原口 泰藏</p> <p>(各通) 海軍大尉 長藤 季久士</p> <p>海軍中尉 橋本 強</p> <p>馬公要港部軍法會議判士ヲ命ス (八月廿四日同)</p>
---	--

海軍公報(部内限) 第三千七百七號 昭和十六年一月二十七日

0637

第一課勤務ヲ命ス(二十期海軍省人事局) 海軍少佐 島内百千世

○ 雜 款

○郵便物發送先  
自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

本隊宛 佐世保郵便局氣付 海軍田口部隊  
殘留隊宛 臺灣高雄州岡山郡彌陀庄  
(高雄海軍航空隊)

○書類發送先ニ關スル件

今般當隊、本隊、殘留隊ニ區分相成候ニ付自今當隊宛發送書類ハ殘留隊關係以外ハ直接本隊宛發送ノコトニ取計相成度

追テ殘留隊宛書類ニシテ本隊ニ關係アルモノハ寫一通本隊宛發送相成度  
(高雄海軍航空隊)

○學生入校期日

今期任命豫定ノ本校甲種學生ハ二月四日〇九三〇入校式施行ニ付同時刻迄ニ入校セシメラレ度  
(海軍潜水學校)

○練習生採用試験問題發送

第六十二期高等科機關術 練習生試験問題發送  
第五十三期高等科電機術

右都合ニ依リ更改ノ上一月二十二日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至急御通知相成度

記

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送

二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部第一課長宛送付

(聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ豫定變更ノ爲聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ若干ノ餘裕ヲ含ム)

(海軍工機學校)

0638



○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月二十七日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋▲、  
鹿島▲、天龍▲、龍田▲、夕張▲、迅鯨▲、  
曙▲、潮▲、朧▲、追風▲、疾風▲、夕風▲、  
朝風▲、睦月▲、如月▲、望月▲、彌生▲、  
伊六▲、伊一七▲

宗谷

(翔鶴)▲ (津輕)▲ (伊二三)▲ (伊三三)▲

【長浦】

國後▲、多摩▲、  
磯風▲、浦風▲、  
呂六二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六三▲、  
呂六四▲、呂六八▲、呂六五▲、呂六六▲、  
呂六七▲、伊一二三▲、伊一二四▲、  
驅潜一三▲、  
哨一▲、哨二▲

【横濱】

(香椎)▲ (筑紫)▲  
(萩風)▲ (濱風)▲

【浦賀】

神風▲、沼風▲、波風▲

【函館】

野風▲、  
淺間▲、妙高▲、扶桑▲、勝利▲、三隈▲、  
薄雲▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、  
呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【大阪】

球磨▲、  
(日進)▲ (伊九)▲ (伊二七)▲ (伊三五)▲

【神戸】

大井▲、  
(瑞鶴)▲ (伊一〇)▲ (伊一九)▲ (伊二二)▲  
(伊二二)▲ (伊二五)▲ (伊三一)▲

【因島】

三日月▲、  
驅潜五一▲、驅潜五二▲

【舞鶴】

吾妻▲、長良▲、木曾▲、  
嵐▲、  
哨三六▲、哨三七▲

【佐世保】

(野分)▲、  
羽黑▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲、  
呂三〇▲、呂三二▲、呂三三▲、伊三九▲、  
伊六〇▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲、  
哨三八▲、哨三九▲

【鎮海】

八丈▲ (伊一八)▲ (伊二四)▲ (伊二九)▲、  
朝顔▲、芙蓉▲

0639

【作業地】

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、  
 足柄、占守、嵯峨、名取、磐手、  
 長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、  
 霧島、加古、古鷹、青葉、阿武隈、  
 川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、  
 瑞穂、高雄、愛宕、島海、摩耶、那智、  
 熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、  
 那珂、加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、  
 蒼鷹、沖島、常磐、香取、大鯨、  
 長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、  
 由良、能登呂、神威、  
 栗、梅、迷、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
 若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、帆風、沙風、菊月、  
 卯月、夕月、響、曉、電、雷、漣、  
 早潮、夏潮、親潮、黒潮、初風、雪風、  
 天津風、時津風、霞、霞、陽炎、不知火、  
 夕立、村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、  
 峯雲、夏雲、海風、涼風、江風、山風、  
 大湖、荒潮、滿潮、朝潮、矢風、沖風、  
 呂三、呂四、呂三、伊二、伊一、伊三、  
 伊五、伊四、伊七、伊八、伊一、伊五、  
 伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發—吳)  
 大泊 (二十二日小樽發—久春内)  
 尻矢 (二十三日川崎發—吳)  
 八雲、鬼怒 (二十七日安下庄發—佐伯灣)

伊五六、伊五七、伊五八、伊六六、  
 伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、  
 伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、  
 鴻、隼、鴨、鶴、雁、鳩、鷺、雉、  
 初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
 知床、攝津

0640

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千七百八號

海軍大臣官房

昭和十六年一月二十八日(火)

○令 達

官房機密第七七三號

昭和十六年一月二十七日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十五年官房機密第七四四三號別表中左ノ通改正ス  
海軍砲術學校乃至横須賀海軍航空隊ノ項中「多摩」ノ  
下ニ「嵐」ヲ加フ

(昭和十五年十一月十五日海軍公報(部内限)参照)

○通 牒

經豫機密第三號ノ四

昭和十六年一月二十七日

海 軍 省 經 理 局 長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

海軍公報(部内限)第三千七百八號 昭和十六年一月二十八日

内令提  
要登載

支出官又ハ資金前渡官吏ガ軍用手票ノ拂出  
ヲ受クル日本銀行代理店並ニ日本通貨ト軍  
用手票ノ引換ヲ爲ス日本銀行代理店ニ關ス  
ル件通牒  
首題ノ件ニ關シテハ曩ニ通牒候處今般更ニ日本銀行東  
舞鶴代理店ニ於テモ右ノ取扱ヲ受ケ得ルコトト相成候  
條了知相成度

○辭 令

極東丸	船長	永田 秀吉
同	一等運轉士	小橋 辰雄
同	二等運轉士	菊池 素一朗
同	機關長	池田 敏謙
同	一等機關士	小久保 司
同	首席通信士兼事務長	加納 圭介
同	次席二等機關士	佐藤五左衛門
同	員外機關士	藤原 志平
極東丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス		

(各通)

二二七

0641

(七十七年 海軍省)

極東丸首席二等機關士 原口 住治

(八十四年同)

極東丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス  
極東丸員外機關士 藤原 志平

極東丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(八十四年同)

極東丸次席二等機關士 佐藤五左衛門

極東丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(八十四年同)

海軍少將 宇垣 纏

海軍大佐 島本久五郎

同 長谷真三郎

同 冨永昌三

同 古村 啓藏

海軍中佐 三浦 艦三

同 菊地 喜市郎

同 貴島 掬徳

同 寺崎 隆治

同 鈴木 正金

同 齋藤 忠康

同 野田 六郎

同 小田切 政徳

(各通)

二二八

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

海軍軍醫少將 田川 資造

海軍大佐 岡田 爲次

海軍中佐 西澤 誠二

同 永井 太郎

同 久野 修三

同 三代 辰吉

同 皆川 延利

同 有泉 龍之助

海軍少佐 鷹尾 卓海

海軍機關大佐 佐伯 甚七

同 古野 博

海軍機關中佐 山田 慈郎

同 田中 千春

同 市村 忠逸郎

海軍軍醫大佐 大久保 信

(各通)

0642

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ免ス

海軍主計大佐	爲本 博篤
同	島津 惣次
海軍主計中佐	出本 鹿之助
海軍軍醫少將	田川 資造
海軍大佐	岡田 爲次
海軍中佐	西野 友三郎
同	久野 修三
同	田村 三郎
同	三代 辰吉
同	井上 勇
海軍少佐	有泉 龍之助
同	魚住 頼一
同	鷹尾 卓海
同	中山 義則
海軍機關大佐	林 敏之
同	浦野 角造
海軍機關中佐	中島 正
同	山田 慈郎
同	田中 千春
同	市村 忠逸郎

(各通)

海軍機關少佐	森下 陸一
海軍軍醫大佐	大久保 信
海軍主計大佐	爲本 博篤
同	島津 惣次
海軍主計中佐	前川 宗太郎
海軍造船中佐	塩山 策一
昭和十六年度恩賜研學資金受賞者銓衡臨時委員ヲ命ス(以上各同)	
海軍大尉 西野 正男	
通信部第十課勤務ヲ命ス(海軍大尉 海軍部)	
海軍中佐 平田 勉(艦本)	
伊號第九潜水艦審議委員ヲ命ス	
海軍中佐 曾田 隆宗	
伊號第九潜水艦審議委員ヲ免ス(以上各同)海軍艦政本部)	

○ 雜 款

○將旗一時移揚  
 廣東方面根據地隊司令官ハ一月二十三日將旗ヲ一時懸  
 峨ニ移揚、同二十四日廣東方面根據地隊ニ復歸セリ

0643

<p>○將旗復歸 第三根據地隊司令官ハ一月二十三日將旗ヲ司令部ニ復歸セリ</p>	<p>○司令驅潛艇指定 第六十二驅潛艇司令ハ一月十五日司令驅潛艇ヲ桂丸ニ指定セリ</p>	<p>○司令砲艦指定 第四砲艦隊司令ハ一月十五日司令砲艦ヲ西京丸ニ指定セリ</p>	<p>○郵便物發送先 第三通信隊宛 當分ノ間 神奈川縣横須賀市田浦町 海軍水雷學校氣付 佐々木部隊</p>	<p>五洲丸宛 自今 横須賀郵便局氣付</p>	<p>寶洋丸宛 一月三十日以後到達見込ノモノハ 吳郵便局氣付</p>	<p>○郵便物發送先ニ關スル件 本艦本籍ハ吳鎮守府ナル處郵便物爲替等往々横須賀郵便局氣付(指定)トセラルル向アルモ自今吳郵便局氣付</p>	<p>付(指定)ノコトニ取計相成度 (軍艦八雲)</p>	<p>○事務取扱開始 第四砲艦隊ハ一月十五日西京丸ニ於テ事務取扱ヲ開始セリ</p>	<p>○特設運送船朝光丸行動豫定</p> <table border="1"> <tr> <th>地名</th> <th>着</th> <th>發</th> </tr> <tr> <td>馬公</td> <td>二月九日</td> <td>二月八日</td> </tr> <tr> <td>基隆</td> <td>二月十六日</td> <td>二月十三日</td> </tr> <tr> <td>佐保</td> <td>二月十九日</td> <td>二月十八日</td> </tr> <tr> <td>西戶</td> <td>二月二十三日</td> <td>二月二十二日</td> </tr> <tr> <td>吳阪</td> <td>二月二十六日</td> <td>二月二十五日</td> </tr> </table>	地名	着	發	馬公	二月九日	二月八日	基隆	二月十六日	二月十三日	佐保	二月十九日	二月十八日	西戶	二月二十三日	二月二十二日	吳阪	二月二十六日	二月二十五日
地名	着	發																									
馬公	二月九日	二月八日																									
基隆	二月十六日	二月十三日																									
佐保	二月十九日	二月十八日																									
西戶	二月二十三日	二月二十二日																									
吳阪	二月二十六日	二月二十五日																									

0644

○艦船所在 印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

○一月二十八日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋▲、  
 鹿島▲、天龍▲、龍田▲、夕張▲、迅鯨▲、  
 曙▲、潮▲、臘▲、追風▲、疾風▲、夕風▲、  
 朝風▲、睦月▲、如月▲、望月▲、彌生▲、  
 伊六▲、伊一七▲、伊七○▲、  
 宗谷▲

【長浦】

翔鶴▲、津輕▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、  
 磯風▲、浦風▲、  
 呂六二、呂六〇、呂六一、呂六六三、  
 呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、  
 呂六七、伊一二三、伊一二四、  
 驅潜一三、  
 哨一、哨二

【横濱】

香椎▲、筑紫▲、  
 萩風▲、濱風▲、

【浦賀】

神風▲、沼風▲、波風▲、  
 伊五二、  
 哨三四▲、哨三五▲

【函館】

野風▲、  
 淺間▲、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈▲、  
 薄雲▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、  
 呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

【大阪】

伊六一▲、伊七一▲、伊一二三▲、  
 伊一二二▲、  
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、  
 驅潜五三▲、  
 哨四六▲、  
 樺野▲、襟裳▲、  
 日進▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、  
 球磨▲、  
 隱戸▲、間宮▲、  
 (谷風)▲、  
 大井▲、

【神戸】

瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲、  
 (伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、  
 (石垣)▲、  
 三日月▲、  
 驅潜五一、驅潜五二、  
 哨三一、哨三二、哨三三、  
 吾妻▲、長良▲、木曾▲、  
 哨三六、哨三七、  
 (野分)▲、

【佐世保】

羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲、  
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲、  
 伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲、伊六九▲、  
 哨三八▲、哨三九▲、  
 敷島▲、草薙▲、野島▲、  
 (八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、

【鎮海】

朝顔▲、芙蓉▲、  
 作樂地▲、出雲▲、安宅▲、伏見▲、比良▲、二見▲、熱海▲、

海軍公報(部内限) 第三千七百八號 昭和十六年一月二十八日

0645

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、  
 口足柄、占守、嵯峨、口名取、口磐手、  
 口長門、陸奥、口日向、伊勢、口比叡、  
 霧島、口加古、古鷹、青葉、口阿武隈、  
 口川内、口龍驤、鳳翔、口千歳、口代田、  
 瑞穂、口高雄、愛宕、口海軍、口那智、  
 口熊野、口鈴谷、最上、口利根、口筑摩、口神通、  
 口那珂、口加賀、口飛龍、蒼龍、口白鷹、口初鷹、  
 蒼鷹、口沖島、口常磐、口香取、口大鯨、  
 口長鯨、口五十鈴、口嚴島、口八重山、口北上、  
 口由良、口能登呂、口神威、  
 栗、梅、蓮、口萱、口峯風、口春風、口旗風、  
 松風、口朝風、口文月、口水無月、口長月、  
 口若葉、口初春、口初霜、口白日、口白霧、口時雨、  
 口有明、口夕暮、口初雪、口白雪、口吹雪、口白雲、  
 口東雲、口叢雲、口綾波、口浦波、口磯波、口敷波、  
 口夕霧、口狹霧、口天霧、口朝霧、口秋風、口羽風、  
 口太刀風、口夕風、口帆風、口沙風、口菊月、  
 口卯月、口夕月、口櫻、口曉、口電、口雷、口謎、  
 口早潮、口夏潮、口親潮、口黑潮、口初風、口雪風、  
 口天津風、口時津風、口霞、口霞、口陽炎、口不知火、  
 口夕立、口村雨、口春雨、口五月雨、口朝雲、口山雲、  
 口峯雲、口夏雲、口海風、口涼風、口江風、口山風、  
 口大湖、口荒潮、口滿潮、口朝潮、口矢風、口沖風、  
 口呂三、口呂四、口呂三、口伊二、口伊一、口伊三、  
 口伊五、口伊四、口伊七、口伊八、口伊一五、  
 口伊一六、口伊二〇、口伊五五、口伊五四、  
 口伊五六、口伊五七、口伊五八、口伊六〇

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發一吳)  
 大泊 (二十二日小樽發一久春内)  
 尻矢 (二十三日川崎發一吳)  
 八雲、鬼怒 (二十七日安下庄發一佐伯灣)  
 嵐 (二十七日舞鶴發一横須賀)  
 伊六二、伊六四、伊六六、伊七二、  
 伊七三、伊七四、伊七五、  
 口初雁、口真鶴、口友鶴、口千鳥、  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
 知床、攝津



(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百九號

昭和十六年一月二十九日(水)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第八二五號  
海軍艦船裝製規程第一號申左ノ通改正ス

昭和十六年一月二十九日

海 軍 大 臣

附表第一及第二ヲ別表ノ如ク改ム

## 附 則

本改正ハ自今計畫ノ新艦ヨリ之ヲ適用ス

(別表二葉添)

## ○通 牒

官房機密第八二六號

昭和十六年一月二十九日

海 軍 省 副 官

各關係廳長殿

要  
令  
登  
載

火藥火工兵器貯藏檢査規則ニ關スル件照會  
今般昭和十五年内令兵第七十三號ニ依リ首題規則改正  
相成候ニ付テハ既配付單行ノ大正九年内令兵第一號別  
冊(大正十五年九月内令兵第二十九號迄訂正濟)火藥  
火工品貯藏檢査規則ヲ適宜燒却處分相成度

經物第九二號

昭和十六年一月二十八日

海軍省經理局長  
海軍省建築局長

各海軍經理部長  
各海軍建築部長 殿

土地買收代金ノ支拂促進ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ地積ノ實測、登記所ニ於ケル登記  
等ニ著ク日數ヲ要シ從テ代金ノ支拂亦遲延勝ニシテ多  
數賣渡者中ニハ土地引渡後ニ於ケル生活ノ窮狀同情ス  
ベキモノ不尠一社會問題トシテ願慮スベキ情況ニ有之  
將來軍備ノ整備上一大支障ヲ爲スノ虞有リト認メラレ  
候ニ付テハ爾今左記ノ通取扱ハレ之ガ促進ニ一層努力

海軍公報(部内限) 第三千七百九號 昭和十六年一月二十九日

一三三

0647

相成度

追テ代金支拂ガ十分促進セラルル場合ニハ從來ノ方法ニ依ラルルモ勿論差支無之

記

- 一 土地買收ノ協定成立セバ町村長(又ハ之ニ準ズベキ者)ノ立會ノ下ニ買收諸條件ニ對スル各賣渡者(又ハ其ノ代表者)連名ノ承諾書又ハ協定書ヲ提出セシムルコト
- 二 各賣渡者ヨリ別紙様式ノ土地賣渡書ヲ提出セシムルコト
- 三 賣渡書ニ記載スベキ地積ハ土地臺帳面積ニ依ルコト
- 四 賣渡書ニハ領收月日ヲ記入シ領收應ノ應印ヲ捺捺シ別ニ契約書ヲ作ラザル場合ハ之ニ代用スルコト
- 五 賣渡者ヨリ地積ノ實測ヲ要求スル場合ニハ前號ノ賣渡書ニ「地積ハ土地臺帳面積ニ依ル但シ速ニ實測ヲ行ヒ其ノ結果ニ依リ代金ノ増減行ハルベキ」旨ヲ記入セシムルコト
- 六 賣渡書ヲ徵スルト共ニ昭和十二年勅令第五百八十四號第一條ノ規定ニ依リ代金ノ支拂ヲ行ヒ賣渡書ノ目附ヲ以テ國有財産臺帳ニ登錄スルコト
- 七 計算證明規程第三十八條ノ規定ニ依ル支出ノ證憑

書ニハ前號ノ登錄月日ヲ記載シ登記副本又ハ登記副本未到達明細書ノ如キモノヲ添付セザルコト

六 國有財産法施行規則第一號書式備考九ニ依ル年月日欄ニハ第四號ノ日附ヲ以テ取得月日トシ記載スルコト但シ第三號ノ場合實測ノ結果ニ依ル増減分ニ對シテハ實測終了ノ日ヲ以テ得喪月日トスルコト

七 第三號ノ場合ニハ速ニ實測ヲ行ヒ其ノ結果ニ依リ代金ノ追給又ハ回收ヲ行フコト

八 地上權、抵當權等ノ設定セラレアル土地ニ付テハ此等ノ權利ノ消滅ニ關シ適當ノ方法ヲ講ジタル後前各號ヲ適用スルコト

(別紙添)

艦本第一〇八二五號

昭和十五年十二月二十一日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

徵用工員ニ對スル作業服貸與ニ關スル件

通牒

海軍徵用工員規則第十條ニ依ル作業服ノ貸與標準ヲ左記ノ通定ム

0648

記

一、品種及數量

一人ニ付作業服上衣及袴一組ヲ入廠ノ際一回限リ貸與ス

二、被貸與者

昭和十五年十二月十日在籍者以外ノ者ニシテ同日以降部外ヨリ新ニ徵用セラレ入廠スル者

三、整理方法

附屬費支辨(被服及糧食)トシ附屬費整理符號一三〇ヲ以テ處理スルモノトス

○ 辭令

臺灣總督府事務官

濱崎 良三

臺北州警部

出水 弘

高雄州警部

男澤 文男

新竹州警部

糸島 熊次郎

臺中州警部

目黒 五郎

臺北州警部

土屋 通雄

同

松本 軍五

臺南州警部

上田 光雄

(各通)

臺中州警部補 陣内 喜太郎  
臺北州警部補 早田 喜久雄  
臺南州警部補 塩川 伊之吉  
第二遣支艦隊司令部附ヲ命ス(海軍省)  
海軍技手 齋藤 省三  
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍航空本部)

○ 雜款

○將旗移揚  
第三根據地隊司令官ハ昨年十二月二十一日將旗ヲ福山丸ヨリ陸上司令部ニ移揚、一月二十一日將旗ヲ一時福山丸ニ指定セリ

○將旗復歸  
第十一航空艦隊司令長官ハ一月二十五日將旗ヲ鹿屋海軍航空隊ニ復歸セリ

○司令潜水艦一時變更  
第十二潜水隊司令ハ一月二十六日司令潜水艦ヲ一時伊號第七十潜水艦ヨリ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先  
自今當隊宛郵便物ハ左記區分ニ依リ發送相成度

<p>千歳海軍航空隊本隊宛 二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 館山海軍航空隊内 千歳海軍航空隊本隊 其ノ後ハ 横須賀郵便局氣付 四〇五四 千歳海軍航空隊殘留隊宛 北海道千歳郡千歳村 千歳海軍航空隊 本隊宛書類ニシテ殘留隊ニモ必要ト認メラルモノ ハ寫ヲ殘留隊ニ送付相成度 (千歳海軍航空隊)</p>		<p>本船内ニハ左ノ通りニ所轄アリテ各々庶務ヲ掌理致居 候處從來郵便物ニシテ宛先ヲ混同スルモノ又ハ牟婁丸 船長、同指揮官等誤記ノモノ多數有之事務處理上不便 尠カラザルニ付自今發送ニ關シテハ十分留意相成度 追而ニ所轄ニ關係アルモノヲ一部ノミ發送セララル 場合ハ總ベテ牟婁丸監督官ト表記セラレ度</p>	
所轄名	所轄長	所屬科別	備考
特設運送 船牟婁丸	監督官	兵科、機關科、主計 科、船長以下固有船 員、軍屬	金錢、被服、 糧食關係ハ牟 婁丸主計長掌 理ス
牟婁丸海 軍病院	病院長	醫務科、看護科、依 託入院患者	
(牟 婁 丸)			

○書類發送先ニ關スル件  
當隊當分ノ間美幌及鹿屋海軍航空隊ニ別居致候條郵便  
物ハ自今鹿屋海軍航空隊氣付ニテ發送相成度  
尙練習生採用試驗問題ハ二部送付ヲ得度  
(美幌海軍航空隊)

○特設運送船甲谷陀丸行動豫定

地名	着	發
西戸崎	一月三十一日	二月三日
吳崎	二月四日	二月六日
長保	二月七日	二月八日
佐世保	二月九日	二月十日
鎮海	二月十一日	二月十五日
西戸崎	二月十六日	二月十八日
佐世保	二月十九日	二月二十一日
横須賀	二月二十五日	三月一日

○取消  
一月二十三日日本欄第二根據地隊特設艦船略稱制定ノ件  
ハ取消ス

0650

附表第一

艦艇（河用ノ砲艦及潜水艦ヲ除ク）特務艦艇用主錨及同錨鎖表

計畫公試排水量 (噸)	主錨重量 (噸)	錨鎖		
		徑 (耗)	一條ノ長サ	
			(連數)	(米)
120 未滿	0.1	12	4	100
120以上 200未滿	0.2	15	7	175
200 " 300 "	0.3	18	8	200
300 " 450 "	0.4	21		
450 " 550 "	0.5	23		
550 " 650 "	0.6	25		
650 " 800 "	0.7	27	10	250
800 " 900 "	0.8	29		
900 " 1000 "	1.0	30		
1000 " 1200 "	1.0	32		
1200 " 1400 "	1.2	34	12	300
1400 " 1600 "	1.4	36		
1600 " 1900 "	1.6	38		
1900 " 2200 "	1.8	40		
2200 " 2600 "	2.0	42	14	350
2600 " 3100 "	2.3	44		
3100 " 3600 "	2.6	46		
3600 " 4200 "	2.9	48		
4200 " 4800 "	3.2	50	15	375
4800 " 5500 "	3.6	52		
5500 " 6300 "	4.0	54		
6300 " 7300 "	4.0	56		
7300 " 8500 "	4.5	58	16	400
8500 " 10000 "	5.0	60		
10000 " 12000 "	5.0	62		
12000 " 14000 "	5.5	64		
14000 " 17000 "	6.0	66	18	450
17000 " 20000 "	6.0	68		
20000 " 23000 "	6.5	70		
23000 " 27000 "	7.0	72		
27000 " 32000 "	7.5	74	19	475
32000 " 37000 "	8.0	76		
37000 " 43000 "	8.0	78		
43000 " 50000 "	8.5	80		

備考

1. 本表中主錨重量、錨鎖ノ徑及連數ハ艦型及役務ニ依リ多少増減スルコトヲ得、特ニ航空母艦ノ如キ風壓大ナル艦型ニアリテハ相當ノ修正ヲ施スベシ
2. 起工後ニ於テ公試排水量變化ニ因リ本表ノ標準ト相違ヲ生ジタル場合ト雖モ本表ニ於テ一行程度ノ相違ナラバ之ヲ計畫通リトナスコトヲ得
3. 本表ノ錨鎖ハ日本標準規格スタッド附特別錨鎖ニ依ル

(昭和十六年一月二十九日海軍公報(部内限))

附表第二

砲艦（河用）用主錨及同錨鎖表

計畫公試排水量 (噸)	主錨重量 (噸)	錨鎖		
		徑 (吋)	一條ノ長サ (連數)	鎖 (米)
120 未滿	0.1	15	5	125
170 未滿	0.2	18	9	225
170 " 230 "	0.3	21		
230 " 300 "	0.4	23		
300 " 370 "	0.5	25		
370 " 480 "	0.6	27		
480 " 650 "	0.8	30	10	250
650 " 800 "	1.0	32		
800 " 1000 "	1.0	34		
1000 " 1200 "	1.2	36	11	275
1200 " 1500 "	1.4	38		
1500 " 1800 "	1.6	40		

備考

1. 本表主錨重量、錨鎖ノ徑及連數ハ艦型ニ依リ多少増減スルコトヲ得
2. 起工後ニ於テ公試排水量變化ニ因リ本表ノ標準ト相違ヲ生ジタル場合ト雖モ本表ニ於テ一行程度ノ相違ナラバ之ヲ原計畫通リトナスコトヲ得
3. 本表ノ錨鎖ハ日本標準規格スタッド附特別錨鎖ニ依ル

（昭和十六年一月二十九日海軍公報（部内限））

0652

(別紙様式)

(昭和十六年一月二十九日海軍公報(部内限))

収入印紙

土地賣渡書

一金

左記土地今般海軍省用地トシテ御買上相成候ニ付テハ所掲ノ代價ヲ以テ賣渡仕候後日ノ爲土地賣渡書一札如件

昭和 年 月 日

×海軍建築部長殿

土地ノ表示

所在地名及地番	地目	地積	摘要	單價	代價
				當	
	年月		日領收		
			應		
			印		

○艦船所在  
指定ヲ要セズ

○一月二十九日午前十時

【横須賀】山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、

鹿島、天龍、龍田、迅鯨

曙▲、潮▲、鷹▲、睦月、如月、望月、

彌生

伊六▲、伊七○

【長浦】(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲

國後▲、多摩

【磯風】浦風

呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、

呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、

呂六七、伊一二三、伊一二四

驅潜一三

哨一、哨二

【横濱】(香椎)▲、(筑紫)▲

浦賀▲、(萩風)▲、(濱風)▲

館山▲、神風、沼風、波風

大湊▲、伊五二

哨三四▲、哨三五▲

【函館】野風▲

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈

薄雲▲、吳竹、若竹、早苗

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、

伊六一▲、伊七一▲、伊一二三▲

伊一二一

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

【下津】(日進)▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

襟裳

球磨▲、隱戸▲、間宮

【大阪】(谷風)▲

大井▲

【神戸】(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲

(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲

【玉】(石垣)▲

三日月▲

【徳山】尻矢

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

八雲、鬼怒

【油津】吾妻▲、長良▲、木曾▲

哨三六、哨三七

【舞鶴】(野分)▲

羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲

伊六五▲、伊六九、伊六八

哨三八▲、哨三九▲

【佐世保】敷島▲、早鞆▲、野島▲

(八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲

海軍公報(部内限)第三千七百九號 昭和十六年一月二十九日

一二七

0654



【鎮海】朝顔、芙蓉、  
【作業地】出雲、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、  
鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、  
陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、  
加古、青葉、阿武隈、川内、  
龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、  
高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、  
鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、  
加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、  
沖島、常磐、夕張、香取、大鯨、  
長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、  
由良、能登呂、神威、  
栗、楸、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
太刀風、夕風、帆風、汐風、菊月、  
卯月、夕月、響、曉、電、雷、漣、  
早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、雪風、  
天津風、時津風、霞、霞、陽炎、不知火、  
夕立、村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、  
峯雲、夏雲、海風、涼風、江風、山風、  
大潮、荒潮、滿潮、朝潮、追風、疾風、  
夕風、朝風、矢風、沖風、  
呂三四、呂三三、伊二、伊一、伊三、

伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、  
伊一六、伊一七、伊二〇、伊一五、  
伊五四、伊五六、伊五七、伊五八、  
伊六〇、伊五九、伊六二、伊六四、  
伊六六、伊七二、伊七三、伊七四、  
伊七五、  
鴻、隼、鶯、鶻、雁、鳩、鷺、雉、  
初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
掃一〇、掃一一、掃一二、  
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
知床、攝津、大泊、

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發一吳)  
嵐 (二十七日舞鶴發一横須賀)  
宗谷 (二十八日横須賀發一鳥羽)  
磐手 (二十八日作業地發一佐世保)

0655

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七百十號

昭和十六年一月三十日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第五〇九號

昭和十五年官房第三八〇九號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月三十日

海軍大臣

「海軍燃料廠研究部」ヲ

同「海軍燃料廠精製部」ニ改ム

同「海軍燃料廠精製部」ニ改ム

同「海軍燃料廠精製部」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

参照 昭和十五年官房第三八一九號ハ會計監督ノ所掌ニ關スル特例ノ件ナリ

官房第五一〇號

昭和十五年達第二百十四號海軍臨時家族手當支給規則改正ニ依ル工員ニ對スル臨時家族手當ノ整理ハ當分ノ間海軍工作廳工事費整理規則第二號書式(出而簿)支給額計欄ニ割書シ工事費トノ區分ヲ明ニスベシ

官房第一七四九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年一月三十日

海軍大臣

参照 官房第一七四九號ハ昭和十五年達第五十一號ニ依ル海軍臨時家族手當ニ關スル工事費整理ノ件ナリ(四月十日海軍公報掲載)

○ 通 牒

教育機密第四四號

昭和十六年一月二十九日

海軍省教育局長

關係各廳長殿

通信訓練ニ對スル報告ニ關スル件申進

當分ノ間戰國訓練規則草案ニ依ル通信訓練ニ對スル報告書類ノ處理ニ關シ別表ノ通定メラレ候  
追テ報告様式ハ昭和十六年内令第二百十號第四章所定ノ通  
(別表添)

海軍公報(部内限) 第三千七百十號 昭和十六年一月三十日

一二九

0656

○ 雜 款

○將旗移揚  
第五根據地隊司令官ハ一月二十八日將旗ヲ日海丸ヨリ陸上司令部ニ移揚セリ

○旗艦變更  
第三遣支艦隊司令長官ハ一月二十七日旗艦ヲ磐手ヨリ飛鳥ニ變更セリ

○郵便物發送先  
當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

東舞鶴郵便局氣付 万洋丸司令部  
(第二砲艦隊)

小牧丸宛  
二月四日迄ニ到達見込ノモノハ  
鹿兒島縣指宿郵便局氣付  
其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付

驅逐艦嵐宛  
自今 横須賀郵便局氣付

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度  
記

佐世保郵便局氣付 海軍藤村部隊  
(吳鎮守府第一特別陸戰隊)

○速達郵便料金  
本分團ハ廣島縣佐伯郡大竹町ニテ郵便區域外ニ有之速達料金三十錢ヲ要スルニ付留意相成度  
(假稱吳海兵團大竹分團)

○事務所撤去  
弘玉丸事務所ヲ一月二十三日撤去セリ

○特務艦石廊行動豫定

吳地	着	發
吳山	二月十三日	二月十三日
德山	二月十六日	二月十五日
佐保	二月十九日	二月十八日
德津	二月二十二日	二月二十一日
下津	二月二十六日	二月二十四日
吳業地	三月一日	三月六日
吳地	三月五日	三月六日

○特務艦野島行動豫定  
佐世保 着 發  
二月五日

西	志	小	横	佐	吳	長	佐
戸	布	松	須	世	世	崎	世
崎	志	島	賀	保	保	保	保
二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
五日	八日	十日	十二日	十八日	二十一日	二十四日	二十六日
七	九	十五	二十	二十五	二十六	二十六	二十六
日	日	日	日	日	日	日	日

○特務艦襟裳行動豫定變更

地名

着

發

吳	下	尼	佐
津	ヶ	崎	世
保	保	保	保
一月	一月	二月	二月
二十八日	三十一日	四日	四日
二十七	三十一	二	二
日	日	日	日

海軍大尉正七位青木宗保本月二十四日飛行訓練中  
遭難、同二十六日殉職、二十七日軍艦日向ニ於テ  
海軍葬儀執行セリ

海軍公報(部内限)第三千七百十號 昭和十六年一月三十日

一三一

0658

(昭和十六年一月三十日海軍公報(部内限))

記	一	定 檢 信 通				信 通 究 研		信 通 關 戰		信 通 練 教		分 區		
		基本長	所屬長官	各種檢定實施標準	各種檢定成績表	各種檢定實施計畫	各種檢定成績表	實施經過ノ概要	研究ノ成果及意見	實施經過ノ概要	研究ノ成果及意見	通信實施計畫	提出(送付)書類	
<p>一 海軍通信學校長、横須賀海軍航空隊司令及海軍航海學校長ニ送付スベキ書類中無線通信ニ關スルモノハ海軍通信學校長及横須賀海軍航空隊司令ニ、信號通信ニ關スルモノハ海軍航海學校長ニ送付スベシ水中通信ニ關スルモノハ海軍通信學校長ニ送付スル外別ニ一通ヲ海軍潜水學校長ニ送付スベシ</p> <p>二 戰闘通信及教練通信(第十條ノ規定ニ依ルモノ)記録並ニ成績表調製區分及其ノ處理法ヲ別表第一ノ通定ム</p> <p>三 通信訓練及檢定ニ關スル報告中様式ヲ定ムルコト左ノ如シ</p> <p>(イ) 戰闘通信、教練通信、研究通信記録及成績表 無線通信報告第一乃至第二十八表及戰闘通信(信號)報告第一乃至第八表ニ依ル</p> <p>(ロ) 通信檢定成績表 通信檢定報告第一乃至第四表ニ依ル</p> <p>(ハ) 通信關係兵器施設故障摘要表 別紙様式ニ依ル</p>	基本長	通信關係兵器施設故障摘要表	所屬長官ハ之ヲ海軍省教育局長ニ送付ス	在籍鎮守府司令長官	海軍通信學校長	横須賀海軍航空隊司令	海軍航海學校長	各一	十一月三十日迄	重要事項ニ付テハ(故障發生ノ都度)	四月五日迄 七月五日迄 十月五日迄 十二月五日迄	提出(送付)先	提出(送付)期日	
	第五條ノ規定ニ依リ全部又ハ一部ヲ檢定ヲ施行セザル艦船部隊名及理由	海軍大臣	各一	十一月三十日迄										
	各種檢定實施標準	海軍省教育局長	各一	適宜ノトキ										
	各種檢定成績表	海軍省教育局長	各一	所屬長官指定ノ期日										
	各種檢定實施計畫	海軍省教育局長	各一	所屬長官指定ノ期日										
	實施經過ノ概要	海軍省教育局長	各一	實施後成ルベク速ニ										
	研究ノ成果及意見	海軍省教育局長	各一	實施後成ルベク速ニ										
	各種檢定實施標準	海軍省教育局長	各一	適宜ノトキ										
	各種檢定成績表	海軍省教育局長	各一	所屬長官指定ノ期日										
	各種檢定實施計畫	海軍省教育局長	各一	所屬長官指定ノ期日										
	實施經過ノ概要	海軍省教育局長	各一	實施後成ルベク速ニ										

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ノ指定ヲ要セズ

○一月三十日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、

伊六▲、伊七○

【翔鶴】▲、【津輕】▲、【伊二三】▲、【伊三三】▲

【長浦】

▲多摩

磯風、浦風、嵐

伊一三三、伊一二四

驅潜二三

哨一、哨二

【横濱】

（香椎）▲、（筑紫）▲

【浦賀】

（萩風）▲、（濱風）▲

【館山】

澤風

【大湊】

神風、沼風、波風

伊五二

哨三四▲、哨三五▲

【函館】

野風▲

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈

薄雲▲、吳竹、若竹、早苗

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

伊六一▲、伊七一▲、伊一二二▲

伊一二三▲、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

驅潜五三▲

哨四六

樞野▲、石廊▲

【下津】

（日進）▲、（伊九）▲、（伊二七）▲、（伊三五）▲

【大坂】

襟裳▲

【神戸】

間宮▲

【玉島】

（瑞鶴）▲、（伊一〇）▲、（伊一九）▲、（伊二一）▲

【因ノ島】

（石垣）▲

【徳ノ山】

三日月▲

【佐伯】

尻矢▲

【油津】

八雲、鬼怒

【舞鶴】

吾妻▲、長良▲、木曾▲

【佐世保】

哨三六、哨三七

【鎮海】

（野分）▲

【作樂地】

羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲

【朝顔】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊六五▲

【出雲】

伊六九、伊六八▲

【安宅】

哨三八▲、哨三九▲

【伏見】

敷島▲、早鞆▲、野島▲

【比良】

（八丈）▲、（伊一八）▲、（伊二四）▲、（伊二九）▲

【二見】

（伊三九）▲

【熱海】

朝顔、芙蓉

【保津】

鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、

【隅田】

足柄、占守、嵯峨、

【長門】

名取、長門、

0660

陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、  
 加古、古鷹、青葉、阿武隈、川内、  
 龍驤、鳳翔、千歳、千代田、瑞穂、  
 高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、  
 鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、  
 加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、  
 鹿島、天龍、龍田、沖島、常磐、夕張、  
 迅鯨、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、  
 巖島、八重山、北上、由良、能登呂、  
 神威、國後、  
 栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
 若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、帆風、沙風、菊月、  
 卯月、夕月、響、曉、電、雷、潮、  
 臘、曙、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、  
 初風、雪風、天津風、時津風、霰、霞、  
 陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、  
 五月雨、朝雲、山雲、峯雲、夏雲、  
 海風、涼風、江風、山風、大潮、荒潮、  
 滿潮、朝潮、追風、疾風、夕風、朝風、  
 睡月、如月、望月、彌生、矢風、沖風、  
 呂三三、呂三三、呂六二、呂六〇、  
 呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、  
 呂六五、呂六六、呂六七、伊二、伊一、

【航海中】

磐手 (二十八日作業地發—佐世保—)  
 隱戸 (二十九日大阪發—吳—)

伊三、伊五、伊四、伊七、伊八、  
 伊一五、伊一六、伊一七、伊二〇、  
 伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、  
 伊五八、伊六〇、伊五九、伊六二、  
 伊六四、伊六六、伊七二、伊七三、  
 伊七四、伊七五、  
 鴻、隼、鴨、鵲、雁、鳩、鷺、雉、  
 初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
 知床、攝津、大泊、宗谷、

0661

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限)第三千七百十一號

昭和十六年一月三十一日(金)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第八五七號

昭和十七年一月三十一日(金) 海軍大臣官房機密第八五七號

特設運送船朝風丸、第六眞盛丸及三江丸横須賀鎮守府任務ニ從事中同船ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ横須賀海軍經理部長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十六年一月十三日

海軍大臣

## ○通 牒

官房第五二八號

昭和十六年一月三十一日

海軍省副官

各 廳 長 殿

隣組(隣保班)及町内會(部落會)ニ對スル現役軍人加入ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ノ通定メラレ候條了知相成度

海軍諸例  
則登載

記

一、隣組(隣保班)ノ長ト爲ルコトハ差支ナシ但シ政治問題ニハ干與セズ

二、町内會(部落會)ノ長ト爲ルコトヲ禁ズ但シ當該町内會ガ大政翼賛會市區町村支部ノ分區タラズ且左ノ各項ノ一ニ該當スル場合ニ限リ町内會(部落會)長職務執行者トシテ政治問題以外ノ事務ヲ取扱フコトハ差支ナシ

(イ) 町内會(部落會)員全部ガ現役軍人タル場合

(ロ) 町内會(部落會)員ノ大部分ガ現役軍人ニシテ

事實上他ニ適任者ナキ場合

(ハ) 其ノ他特別ノ事情ニ依リ所屬長官ノ認許アル場合

合

尙町内會(部落會)長職務執行者ハ市町村常會ニハ出席スルモ市町村協力會議ニハ出席セズ且同協力會議職員ノ職務ハ之ヲ行ハザルモノトス

海軍公報(部内限)第三千七百十一號

昭和十六年一月三十一日

一三五

0662



○ 辭 令

海軍省事務囑託

田 崎 要

兼テ支那方面艦隊事務ヲ囑託シ報酬年額貳千七百七拾圓ヲ給ス(三訂海軍省)

第二課勤務ヲ命ス(三訂海軍省軍務局) 海軍中佐 扇 三 登

○ 雜 款

○代將旗移揚

第六航空戰隊司令官ハ一月二十七日代將旗ヲ一時能登呂ニ移揚、同二十八日神川丸ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更

第十九潜水隊司令ハ一月二十七日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ變更シ同日復歸セリ

第十二潜水隊司令ハ一月二十八日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ヨリ伊號第六十八潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

西京丸宛

自今

東舞鶴郵便局氣付

自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

隊、司令、隊機關長宛

伊號第二百二十二潜水艦

尙當隊各艦分離中ニ付司令宛書類ニシテ各艦ヘモ關係アルモノハ直接各艦長宛寫送付相成度

(第十三潜水隊)

當隊ハ二月一日本隊、殘留隊ニ分離致候條隊宛郵便物ハ昭和十六年一月二十五日海軍公報部内限(一〇八頁)ニ依ル外左ノ通送付相成度

一、本隊宛書類ニシテ人事關係書類及殘留隊ニ關係アル書類ハ寫一通殘留隊ニ送付得度  
二、功績調査關係書類ハ全部殘留隊ヘ送付相成度 (橫濱海軍航空隊)

○書類發送ニ關スル件

當隊各潜水艦分離シ居ル關係上自今當隊宛書類ハ各潜水艦別ニ發送相成度 (第十二潜水隊)

○事務所撤去

伊號第十八潜水艦艦裝員事務所ヲ一月三十二日撤去セリ

0663

○ 艦船所在

▲印ハ「六ホ」ノ指定ヲ要セズ

○一月三十一日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍崎▲、春日▲、駒橋、伊六▲、伊七○

知床

【長浦】

多摩 (翔鶴)▲ (津輕)▲ (伊二三)▲ (伊三三)▲ (磯風)▲、浦風、嵐

伊一三三、伊一二四、伊一二三

【横濱】

(香椎)▲ (筑紫)▲ (萩風)▲ (濱風)▲

【浦賀】

神風、沼風、波風

【大湊】

伊五二

【函館】

野風▲

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈、薄雲▲、吳竹、若竹、早苗

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊六一▲、伊七一▲、伊一二二▲、伊一二一▲

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一七、掃一八

伊一二一、伊一二二、伊一二三、伊一二四

伊四六

【下津】

樺野▲、石廊▲ (日進)▲ (伊九)▲ (伊二七)▲ (伊三五)▲

【大阪】

球磨▲

【神戸】

間宮

【玉】

瑞鶴▲ (伊一〇)▲ (伊一九)▲ (伊二一)▲ (伊二三)▲ (伊二五)▲ (伊三一)▲

【因ノ島】

三日月▲

【佐伯】

驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三、哨三一、哨三二、哨三三

【油津】

八雲、鬼怒、吾妻▲、長良▲、木曾▲

【舞鶴】

哨三六、哨三七

【佐世保】

(野分)▲、羽黑▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲、呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊六五▲、伊六九▲、伊六八▲

【鎮海】

朝顔、芙蓉

【作業地】

口出雲、口安宅、伏見、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、橋立、口足柄、口占守、嵯峨、口名取、口長門

0664

陸奥、日向、伊勢、比叡、霧島、  
 加古、古鷹、青葉、阿武隈、川内、  
 龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、  
 高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、熊野、  
 鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、  
 加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、  
 鹿島、天龍、龍田、沖島、常磐、夕張、  
 迅鯨、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、  
 嚴島、八重山、北上、由良、能登呂、  
 神威、國後、栗、楯、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、  
 松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、  
 若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、  
 有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、  
 東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、  
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、  
 太刀風、夕風、帆風、汐風、菊月、  
 卯月、夕月、櫻、曉、電、雷、潮、  
 臘、曙、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、  
 初風、雪風、天津風、時津風、霞、  
 陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、  
 五月雨、朝雲、山雲、峯雲、夏雲、  
 海風、涼風、江風、山風、大潮、荒潮、  
 滿潮、朝潮、追風、疾風、夕風、朝風、  
 睦月、如月、望月、彌生、矢風、沖風、  
 呂六四、呂三三、呂六二、呂六〇、  
 呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、  
 呂六五、呂六六、呂六七、伊二、伊一、

【航海中】

磐手 (二十八日作業地發—佐世保—)  
 隱戸 (二十九日大阪發—吳—)  
 尻矢 (三十日徳山發—舞鶴—)

伊三、伊五、伊四、伊七、伊八、  
 伊一五、伊一六、伊一七、伊二〇、  
 伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、  
 伊五八、伊六〇、伊五九、伊六二、  
 伊六四、伊六六、伊七二、伊七三、  
 伊七四、伊七五、  
 鴻、隼、鴨、鶺鴒、雁、鳩、鷺、雉、  
 初雁、真鶴、友鶴、千鳥、  
 掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、  
 掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、  
 掃一〇、掃一一、掃一二、  
 驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、  
 驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、  
 驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、  
 明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、  
 攝津、大泊、宗谷

0665